



妙教寺だより

第 42 号

平成 29 年 元旦

但行 礼拝



平成二十九年

山下火丁酉歳

元旦

年頭のご挨拶

妙教寺第七世

順信院日薫

荒木英知

初頭の宗祖の遺訓

「嗚呼受けがたき人界に生を
うけ、あい難き如来の聖教にあ
い奉れり。」

一眼の亀の浮木の穴にあへるが
ごとし。」

（聖愚問答抄）

平成二十九年丁酉歳の
初春を迎え、檀信徒護持会
会員の皆様にご心から新年
のお喜びを申し上げます。

昨年は、檀信徒の皆様よ
り、當山の護持興隆の為や

宗祖御降誕八〇〇年慶讃
記念事業などのご報恩ご
浄財喜捨によって、昨秋、
第二期事業（慶讃事業委員
会より事業報告詳細は別
紙）が推進し、新年を迎え
皆様方の一層のご支援を
頂き、衷心より御礼申し上
げます。

また、順正院日賢上人
覚位の第十七回忌法要で
のご報恩のご厚志を賜り、
又、諸行事のご奉仕など、
種々のご高配に対し心か
ら御礼申し上げます。

丙申歳は、国内外を見る
と、各地でテロ事件、北朝
鮮の核問題、九州を震撼さ
せた熊本大分を震源とする
巨大地震、温暖化による

地球規模での異常気象、生
態系の変化、飢饉や災害、
更に戦争や動乱、至る所で
起きている暴動、世界的な
経済不況、政治への不満と
不信、ますます凶悪化する
犯罪など、悲惨で不幸な事
件が頻発し、混沌とした世
相を映し出し、不安がおお
う年でしたが、二〇十七年
の新年を迎えるにあたり、
新たな「魂の入替えの出発
点」として、本年こそは、
檀信徒の皆さんはじめ、世
界中の人々が心の安らぎ
と平和な社会であるよう、
お祈り申し上げます。

古来より、新しい年の挨拶
の言葉は、日本人の魂の
奥深くに秘めたる「言霊」
の思いと不思議な力が宿
り、人間としての真心を直
に「みたまにささげる」こ
とを表したものでしょう。

魂の入替えの出発点

宗祖は「正月元旦は妙の一字の祭りなり。妙の一字の徳なり。妙とは蘇生の義なり」と云われ「古い魂がうまれ変わり、霊界、人界、自然界が妙法蓮華經によつて蘇生するように、新たな魂の門出を祝福します」と受とめたとき、言霊の奥の深さを感じます。

また、大聖人は、「嗚呼受けがたき人界に生をうけ、あい難き如来の聖教にあい奉れり。一眼の亀の浮木の穴にあへるがごとし。」聖愚問答抄に垂示されているように、なかなか頂けない人に生命を受け、しかも会い難き仏の教え「法華經」に会うことができたのは、海底に棲む一眼の亀が百年に一度浮上

したら、たまたま一つの流木の穴に顔を出した様に稀有な事だと教えている。

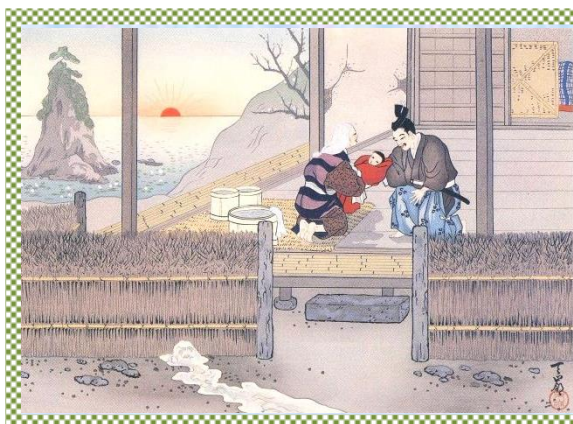
まさに、法華經も命と同じになかなか出会えないものにあらためて感謝し、妙教寺の檀信徒の皆さんが法華經の祈りによつて、ここに改めて「いのちに合唱」し「たましい」を入れ替えなければならぬ今、一人一人が生まれ変わり、信仰の目的である、「妙法受持の信行」をつみ「徳行」をかさねて「知徳円満な成仏」を願い、臨終正念のお題目に生きる決意をもつて、本年も「如説修行」で精進したいと存じます。

無始無終のいのちとは

さて、當山では、近年は、「生死」に対する、人生の

信仰の根本であるところの、「生死」に対する不安から、安樂の境地を求道し、生き生きとした次の生のための「常住不滅」を得る為、また、「即身成仏」を志す「逆修」と云う「生前法号授戒」や菩提寺と疎遠になられた分家の子息方や他宗旨で戒名をいだかれた亡者のために、あらたに、「日蓮宗の法号」をいただかれる「追号法号」を受ける方々が増えていきます。

これら、生前に「逆修法号」や「追号法号」授与される「妙法法号」とは、社会的、家庭的、貢献度と、特に、授戒される聖徒の行状や日蓮宗宗門や妙教寺菩提寺への貢献度を住職が鑑み、一生をたたえ表わすものであります。



2021年（平成33年）
宗祖日蓮大聖人
御降誕 800年

宗祖の妙法尼御前御返事のお言葉に「されば先臨終の事を習て後に他事を習べし」とありますように、「死」

は、恐れられたり忌み嫌われるものですが、「いきてをはしき時は生の仏、今は死の仏、生死ともに仏なり、即身成仏と申す大事の法門これなり」（上野殿後家尼御返事）と大聖人が仰せの如く、人はまず生死に對面する心構えについて教えを受け、覺悟を決することから、人生の出发点としなければならぬと垂示されています。ここに「成仏」の直道である「靈仙浄土」へ赴く契りを結ぶため、生前より菩提寺住職より法号（戒名）を授与されることは、まさに、日蓮大聖人様の本弟子となるための生前受戒を受けられるのです。

生きるという事について

また、日蓮大聖人は、「それ人身をうくる事はまれなり。すでにまれなる人身をうけたり。又あいがたき仏法、是又あり。同じ仏法の中にも法華經の題目にあいたてまつる。結句題目の行者となれり。まことに過去十萬億の諸仏供養の者也。」寂日房御書で示されたように、「人身受けがたし、仏法にはあいがたし」というのがあります。よくよく考えれば、牛馬や鳥や象や虫ではなく、私たちが人の身として生まれたことを不思議に思うことがあります。その生まれがたい人の身に生まれたから、ただちに私たちは「人間」になったというわけではありません。「人間」としての心や

生き方を持つことによつて、はじめて人は「人間」になれるのです。

さらに思えば、人はなぜ生まれてきたのでしょうか。それはなぜ生まれてきたのかを知るためです。命の尊さ、出会いの大切さ、苦しみや喜びや恐れや感謝や善悪を知り、真実とは何かを探求するためです。本来私たちは「生きとし生ける者を哀れみ、助け合うため」（法華經法師品）に人間に生まれてきたのです。

その真実の生き方を示されたのが仏法であり、法華經なのです。あらゆる生物の中から人間に生まれ、たまたま仏法に会うことはむずかしいことです。たとえ仏法に会えても、この上なく深い教えの法華經

に出会うことはもつとむずかしいことです。

それは、法華經提婆達多品に「この經（きょう）は甚深微妙（じんじんみみょう）にして諸經（しよきやう）の中の宝、世に希有（けう）なる所なり」といわれているほど、めつたに会えない、尊く珍しい宝珠、それが法華經だからです。

甚深の妙典と共に 仏道を成ず

ご本佛お釈迦様は、「甚深微妙の法を私はすでにそなえ得た」と宣言され、皆共に仏道を成ずと「開經偈」に次のように説かれました。

「無上甚深微妙の法は百千万劫にも遭いたてまつること難し。我今見聞し

受持する事を得たり。願わくは如来の第一義を解せん。至極の大乗思議すべからず。見聞觸知。皆菩提に

近づく。能詮は報身。所詮は法身。色相の文字は。即ち是れ応身なり。無量の功德。皆是の經に集れり。是の故に自在に。冥に薰じ密に益す。有智無智。罪を滅し善を生ず（ぜん）。若は信若は謗。共に仏道を成ず。三世の諸仏。甚深の妙典なり。生生世世。値遇し頂戴せん。」と示されました。

このようにご教示の如く、私達は、今人間に生まれ、甚深の妙典である「法華經」に出会い、お經（きよう）の文字を見聞きして、真実の教えを受けたもつことができました。ご本佛お釈迦様が私達を、「即身成仏」することを誓願し、

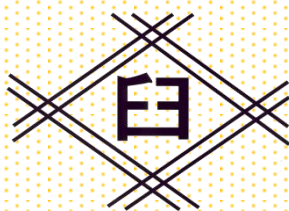
救おうとされているみ心にふれ、その姿や声を見聞きすることができたのです。

また、「過去の因を知らんと欲せば、其の現在を果を見よ。未来の果を知らんと欲せば、其の現在の因を見よ」と開目抄に垂示の通り、現在の自分の姿、また現在の自分に対して起こっていることは、

全て過去の自分の行いによつて生じたことで、聖愚問答抄という御書には、「只南無妙法蓮華經とだにも唱へ奉らば滅せぬ罪や有るべき、来たらぬ福や有るべき。真実なり甚深なり、是を信受すべし」と仰せになつておられますように、ただ南無妙法蓮華經と唱題することによつて、過去・現在の罪障消滅がなされ、更には福德をも積むことが出来る、と

仰せになつておられるのであります。その福德はどうなるかと言え、現在から未来へとつながつていき、必ずや自分にとって善い結果が生ずるのであります。現在の自分の宿業を打ち破る方法は、只南無妙法蓮華經とだにも唱へ信唱受持のただ一つであります。

法華經に出会った「ありがたさ」をかみしめながら、「どうかお釈迦様の説かれた第一のすぐれた教えを信じ習いきわめることができますように」（開經偈の意味）と心から誓願を立て、法華經の正しい教えを理解していくことが大切です。



建設業

早い仕事より確かな仕事、技術と信用の

(有) 臼井組

〒811-2108 福岡県粕屋郡宇美町ゆりが丘 4-3-9

TEL 092-932-7397

平等大慧の心とはなにか

ここに、宗祖は、「仏の御意あらわれて法華經の文字となり、文字は変じてまた仏の御意となる。だから法華經を読む人は單なる文字と思つてはならない。そのまま仏の御意と思わなければいけない」と述べられています。

日蓮大聖人が大切にし、その生涯の行動の規範とされた「法華經」は、人間が人間として人間らしく生きるためにご本佛釈尊が私達に説かれた大本の教えです。

まさに、この、濁世を末法と云われるこの時、衆生救済の佛勅を受けられた、日蓮大聖人は、この法華經の教え、即ち、正法が尊重

されれば、個人には心の安らぎを、その個人が構成する家庭や社会や国や人類全体に本当の安定と秩序と立正平和がもたらされると宣言されました。

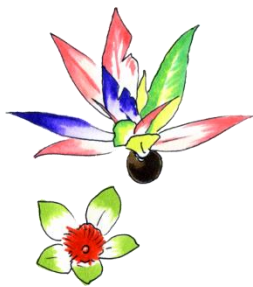
最後に、法華經の功德は平等です。一大秘法神秘である「南無妙法蓮華經」は一切衆生を平等に救う教えなのです。知恵のある者も、ない者もわけへだてはありません。これまでおかしてきたあらゆる罪をなくし、善い心をおこさせます。

法華經を信ずる者も、また法華經をそしる者も、この法華經の限らない功德に包まれることによって、ともに仏に成る道をなしとげることができるので

過去・現在・未来その三世にあらわれたもろもろの佛様は、いずれも法華經を悟つて仏に成られました。日蓮聖人は「法華經は釈尊の父母、諸仏の眼目なり」といわれました。一切の仏を生み出した深い教えが法華經です。

ここに、宿習の因縁によつて妙教寺を信仰の道場において、法華經に出会えた喜びを忘れることなく、經王たる法華經を読み、御題目を唱えて、平等大慧のところで信仰していきましよう。

南無妙法蓮華經



拝む心で尊い品を

梅谷佛具店

仏壇・仏具・寺院用具 寺院納骨堂設計施工



本店 〒812-0027 福岡市博多区下川端町 10-9
TEL (092) 271-0456 • FAX (092) 271-0464

工場 〒819-0373 福岡市西区周船寺 3-9-4
TEL (092) 806-7499 • FAX (092) 807-1079

各会よりご挨拶

護持会会長・筆頭総代

古賀 静枝



寒修行で唱題修行される
古賀静枝 護持会会長

平成二十九年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年、檀信徒の皆様のおかげをもちまして、年間様々な行事も無事に終えることができました。

特に昨年八月二十一日に行われました當山第六世順正院日賢上人の第十七回忌ではたくさん檀家の方々にお参り・お焼香頂き、亡きお上人も靈山浄土でお喜びのことと思います。日賢上人はご生前御前様の強い支えとなり、又、代わりとなつて私達檀信徒に何時も寄り添い、氣さくで親しみやすいお上人様でした。

私は昨年体調を崩し、皆様方に変な心配ご迷惑をおかけ致しました。私も本年は護持会会長として最後の年となりました。残りの任期まで、これまで同様皆様のお力をお借りし

護持会より

◆護持会費納入について◆

月 額 1,000円
一年間 12,000円

会費納入はいつでも受付けています。

問合せ 092(581)1266

妙教寺発展の為努力致したいと思っております。最後までよろしくお願い申し上げます。

婦人会会長

植村 徳

新年あけまして

おめでとうございます



昨年の星祭りで新年の挨拶を
された植村婦人会会長

昨年一年を振り返りますとき、一年間の婦人会活動が恙無く進められたこと偏に皆様方の御協力の賜物と感謝の気持ちでいっぱいです。

時に自分では判断がつかない時はご住職上人や山務のお上人様方に色々とおアドバイスを頂き有難

く思っております。

昨年は例年の恒例行事に加え、元寇園教会にて六月に芋苗植え会、十一月に芋掘り会に参加させて頂きました。



11/23 元寇園教会恒例の芋ほり会の様子

残念ながら猪の被害で収穫はほとんどありませんでしたが、たくさんの参加者の皆さんと草刈り等をして、改めて元寇園教会の維持管理の大変さを痛感しました。しかし皆さんとともに和気あいあいと作業をし、ご住職上人をはじめ

め各上人方共々笑顔で過ごせた一日はまさしく異体同心を感じる一時でした。

これから本院妙教寺同様、別院元寇園教会にも目を向けていきたいと考えております。

最後に、今後も皆様方のご意見を会活動に取り入れていきたいと思っておりますので、新しい行事や行事内容についていいお考え等がありましたら是非お聞かせください。お待ちしております。

今年が檀信徒の皆様にとって幸多き年であります様お祈り申し上げます。南無妙法蓮華經



信行会会長

松尾 勝次

明けまして
おめでとうございます



寒修行に於いて唱題修行をされる松尾信行会会長

旧年中は皆様方にはお世話になり心より御礼申し上げます。会活動も一年間無事に終了することが出来ました。

※会活動内容、法話（住職上人をはじめ各上人）DV布教法話（門中会等の催

し物の中での分）、写經（各上人指導）、仏事作法（各上人指導）、また、年に一度、年末総供養施餓鬼会に合わせて講師上人を招き、信行会主催による特別講演を行っております。昨年は静岡県西伊豆町「大行寺」御山主、星野浄晋上人をお迎えして御講話を頂戴したくさんの檀信徒の皆様



信行会主催特別講演で法話を頂いた静岡県西伊豆町大行寺御山主星野浄晋上人

講演内容としては、今世界ではテロや宗教紛争な

どが多く、国民が住み慣れた場所を追われ難民として大変な思いをしている。原因は色々ありますが、宗教の面から見ると正しい教えが正しく伝わっていないのも一つの原因ではないか、様々な事に許す寛大な心を持つことや、すべての事に感謝できる心を持った人が多い世の中になれば、争いは少なくなる

と教えて頂きました。私達の生活の中にも多かれ少なかれ争い事はありますが、只今宗門にて展開中の立正安国・お題目結縁運動「いのちに合掌」のスローガンのようにお互いが手を合わせて祈り尊重し合える事が必要ではないかと感じました。一刻も早く難民となられた方が幸せな元の生活に戻れるようお祈りいたします。

合掌

会活動は月初め第一日曜日祈祷祭終了後、正午（十二時）より開催しております（会費は無料です。本年は二月五日より）宗祖日蓮大聖人の御教えから一般仏事作法等を学ぶ良い機会になればと思います。皆様のご参加をお待ちいたしております。

尚、昨年から護持会より会活動費を援助いただく事になりました。より一層活動の充実を図って参りたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願い致します。

南無妙法蓮華經

どが多く、国民が住み慣れた場所を追われ難民として大変な思いをしている。原因は色々ありますが、宗教の面から見ると正しい教えが正しく伝わっていないのも一つの原因ではないか、様々な事に許す寛大な心を持つことや、すべての事に感謝できる心を持った人が多い世の中になれば、争いは少なくなる



宗祖日蓮大聖人御降誕八〇〇年

慶讃記念事業について

事業担当長

臼井 義光

◆第二期事業

追加工事について

●今後予定されている事業

一、徒弟教育の支援（未定）

二、山門入口・駐車場入口
段差補修工事（未着工）

三、庫裡三階リフォーム工
事（未着工）

●工事内容

一、境内・裏庭コンセント交換工事（終了）

●工事以外の事業

一、宗門（宗務院・宗務所）

宗祖御降誕八〇〇年

慶讃勸募金（課金）支

援（二回目）

後少々期間がかかると思いますが、御理解・御協力の程よろしくお願い申し上げます。

宗祖御降誕八〇〇年

慶讃記念事業委員会



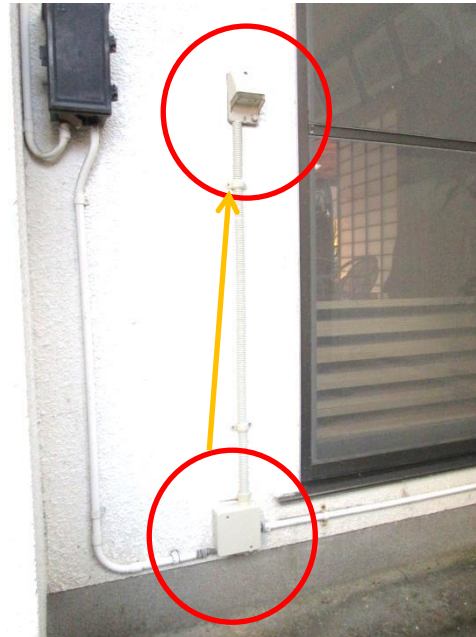
記念事業追加工事照会

雨水侵入防止のため高所に移動
および、旧器具腐食の為に交換

裏庭コンセント交換工事

池のフィルタースイッチ用
コンセント

旧器具腐食の為に交換（6ヶ所）



元寇園教会より

元寇園教会担任

高野 英典

謹んで新春の

お慶びを申し上げます

旧年中は妙教寺の檀信徒の皆様には大変お世話になりました。

昨年はご有志の方々からのお力添えを頂き、元寇園教会に於ける宗祖御降誕八〇〇年事業（復興事業）の第一歩を踏み出す事が出来ました。

平成二十六年の八大龍王塔並びに四尊神塔・万霊供養塔修復工事に続き、昨年平成二十八年には一、建物東側 土手石積

み・庭造成工事

二、広間大引ジャッキアップ工事

三、広間並びに広縁大幅リフォーム工事

四、本堂・広間周辺防蟻作業

五、屋根雨漏り対策・雨どい新設

六、広間立ち長テーブル7台・四人掛け長椅子6台購入

七、本堂・広間他エアコン設置（4台新設）

八、本堂上りまち修復

九、電話機新規交換（2台）・インターネット回線新設

等の事業をする事が出来ました。又、ご有志の方よ

り庭木の剪定や家周りの整備等は無償にて作業頂きました。心より御礼申し上げます。ありがとうございます。合掌

今後も元寇園復興の為、寺族一丸となって努力してまいります。

檀信徒の皆様方には、ご理解ご協力賜りますようお願い申し上げます。

昨年二十八年の行事報告をさせて頂きます。「毎月十七日・二十三日の施餓鬼会」、「6月23日芋苗植え（参加者27名）」、「8月1日盆前大掃除（参加者7名）」、「11月23日芋掘り会（参加者28名）」、「12月23日年末大掃除（参加者12名）」等を行いました。本年も昨年同様、皆様方のご参加をお待ち申し上げます。

ております！



参加者全員で収穫の記念撮影



リフォームされた広間にて芋ほり後に参加者の皆様と昼食をしました

“ご紹介”

昨年十二月より元寇園教会の新しい仲間が来ました！



東側石庭園にて

名前は【パンチ】「由来、顔の（目の周りの模様）が特徴的だったので」

平成28年8月30日生まれでオスのミックス犬です。出身は福岡市中央区西公園のハンバーガーショップでうまれました。春日市のNPO法人を通して元寇園教会へ来ました。

特徴…小さくつぶらな瞳
長所…フレンドリーな所
短所…飼い主に似て車酔いをする所

末永くよろしく願いします！

株式会社 松下仏壇店

熊本店／熊本市上水前寺1-12-12 (東バィス熊工前)
玉名店／玉名市中1832 (玉名高校前)
山鹿店／山鹿市大橋通り404
本店／大牟田市上町2-2-4 (上官通り)

096-384-5666
0968-74-4840
0968-43-5665
0944-56-3675

<http://www.matusita.net>

心と心のふれあいを大切に

お安い費用で、お仏具修復

熊本店

日蓮大聖人のおことば ⑪

観心本尊抄

釈尊の因行果徳の二法は

妙法蓮華經の五字に具足す

我等この五字を受持すれば、

自然に彼の因果の功徳を

ゆずり与え給う

(文永十年 聖寿五十二歳)



建長五年（一二五三年）四月二十八日
自身が出家得度した清澄寺旭ヶ森で、はるか東の太平洋上から昇る太陽に向かって、力強く「南無妙法蓮華經」とお題目を唱えられました。

私たちは毎日お釈迦様のお説きになられた法華經を讀誦し、お題目をお唱えしております。皆さんは一生懸命に真心を込めてお唱えされていると思いますが、中には、ふとした瞬間つい口だけでお唱えし、他の事を考えていた経験のある方はいらっしゃるかもしれませんでしょうか？

お祖師様はこのご妙判の中で、「この五字を受持すれば」と教示しておられますが、「受持する」という事とはどういう事でしょうか。

日蓮聖人は「妙法五字の受持は身・口・意の三業によつて成される」と説かれています。

「身業」とは、『法華經』の教えを身を以て実践す

現代語訳

お釈迦様が長い時間をかけて行った修行とその結果得られた徳は、『妙法蓮華經』という妙法五字の中にすべて含まれています。そして、『妙法五字』を受持すれば、自然とお釈迦様の功徳をすべて譲り受けることができます。

ること、

「口業」とは、お題目を一心にお唱えすること、

「意業」とは、『法華経』の教えを心から信じることを言います。

この三つの業が一つになつてはじめて『妙法五字』を受持することになるのです。私達は一心にこの『妙法蓮華経』を受持・唱題することによって久遠の本仏と一体となり、その功德の一端を頂くことができます、まさしく生きながらに成仏できるという事なのです。(四季社・日蓮宗葬儀法要 法話集参考)

編集部より

妙教寺だより編集部では、皆様からの投稿を、募集致しております。内容はお寺の行事についてまたは、体験談や疑問・質問などよろしくお願いたします。

『末期の水について』

當山修徒 松尾 英勝

故人を靈山浄土へ送るため葬儀式を行います、その葬儀式を迎えるまでに幾つかの儀式がありますが、近年この儀式を簡略される事が多いようです。今回、その儀式の中で「末期の水」についてお話したいと思います。

「末期の水」というのは、現在では、息を引き取った人の口元を、水で潤すことを言います。「死に水を取る」も同じ意味です。

以前は、家族が臨終の間際に行なっていました、現在では、亡くなった方に、箸に脱脂綿を巻いて糸でしばったもの（写真①）を

使って、水をふくませて口元を軽く湿らせるようにしています（イラスト①参照）。割り箸を使い、生前に愛用していたごはん茶碗に水を入れて、末期の水を自宅で準備するのも一般的です。



写真① 材料と作り方



イラスト①

末期の水にも順番があり、喪主から順に血縁の深い順に行ないます。新しい筆などを用いるところもあるようです。

「末期の水」のいわれについてご紹介します。

お釈迦様が説かれた經典中に『長阿含経』があります。この中に「末期の水」の由来となる話ののっています。

「末期を悟られたお釈迦様は弟子の阿難に、口が乾いたので水を持ってきて

欲しいと頼まりましたが、しかし阿難は河の上流で多くの車が通過して、水が濁って汚れているので我慢して下さいと言いました。しかしお釈迦様は口の乾きが我慢できず、三度阿難にお願ひされ、そして『拘孫河はここから遠くない、清く冷たいので飲みたい。またその水を浴びたい』とも言われました。

その時、雪山に住む鬼神で仏道に篤い者が、鉢に浄水を酌み、これをお釈迦様に捧げられた」とあります。これが經典にある「末期の水」の由来です。

お釈迦様がご入滅されてから二千年以上が経ちますが、現在に至っても「末期の水」はこの時と同じような意味を持つ儀式として行われています。

それから、現代でも亡くなられたら、ご遺体の頭を北に向けて北枕で安置しますが、これも、お釈迦様が、ご入滅された時、頭を北にされた事から由来しています。

現在においても、私達が亡くなった後、お釈迦様と同じようにさせて頂けることは、とても幸せなことだと思います。これから後世に遺して行けるように努力して行きましょう。

また、「法華経を信仰するものは何人も仏様になれますよ」と、お釈迦様が説かれておられますから、少しづつでも近づいてまいりましょう。

(インターネットサイト
お葬式プラザ参照)



人と人 人と空間の調和



株式会社 アイプランニング

〒811-1313 福岡市南区日佐3-32-11

TEL/FAX 092-210-6183

建設業全般 2×4住宅

公共工事 2×4輸入住宅

お上人さん教えて！

日蓮宗ポータルサイトより

Q なぜ、お焼香するので
すか？

A お焼香は仏教の大切な行為で、香りを供養するためにしています。

香りを備える供養には三種類あります。

塗香 ずいじつ…香を塗り身体を淨める

焼香 ひょうじつ…香を焚いて供養する

華香 けいじつ…生花をまいて供養する

日本へは六世紀の奈良時代に、中国からもたらされ、最初は抹香 まじつ。粉末状のもの。一般的にお葬式

で使われるものや練香：ねりじつ 合香：あわせじつのようなもので、体の臭い消しとして一般化していきました。

Q お塔婆は、誰が、いつ誰のために建てるものなのですか？

A 法事の施主が、故人のために、ご命日 年回忌、そして春秋の彼岸、お盆、お施餓鬼等の際に建てるものです。施主でなくとも、志のある方には建てることをおすす

めします。ご自身のご先祖様の供養のために志す事が多いようですが、友人やお世話になった方、また有縁の方、そして無縁の方にもたむけて、善行を積まれるとよいでしょう。

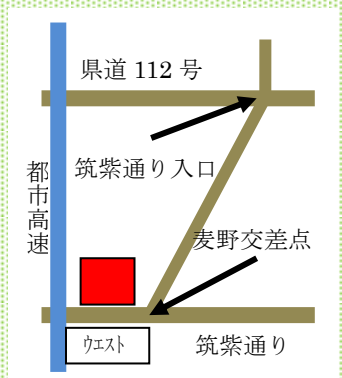
Q 故郷から遠く離れて暮らしているため、お墓参りがなかなかできません。どうしたらいいのでしょうか？

A お墓詣りは、どの時期に必ず行かなければならないというものではありません。行けるときに行く心構えが大切です。



スマイル車検

民間車検工場
井上自動車株式会社
福岡市博多区麦野 1-1-38
TEL : 092-581-4607
FAX : 092-581-4796



行事スナップ



11/23 元寇園教会唐芋収穫祭。今年は 28 名の役員有志の方が参加されました



10/9 お会式桜作り
各会役員並に檀信徒有志の方約 20 名の参加ありました



9/12 豪雨により裏庭の池が氾濫しました。



12/18 年末総供養会
信行会主催特別講演 本年は静岡県西伊豆町大行寺御山主 星野浄晋上人よりご法話を頂きました



12/27 お正月お供え用餅つき
搗きあがった餅を丸める檀信徒の皆さん



12/11 當山年末大掃除
當山役員並に檀信徒有志約 30 名の方々により本堂・境内が綺麗になりました

当店おすすめ商品

期間限定商品

♡ひよこれいと♡

ひよこれいと あまおう莓チョコ 5個入



価格 729 円
(本体 675 円)

ひよこれいと あまおう莓チョコ 8個入



価格 1,188 円
(本体 1,100 円)

恋ドキッ! 新登場!

ひよ子の焼きトリュフ
ひよこれいと
AMAOU CHOCO
【あまおう莓チョコ】

期間限定

甘い香りと、甘酸っぱさと。濃厚苺の焼きトリュフ。

地方発送承ります HIYOKOHONPO YOSHINODO

名菓ひよ子 イオン大野城店
大野城市錦町 4 丁目 1-1 イオン大野城 1 階
TEL・FAX 092-592-2126

檀信徒様のお買い上げは、当店に限り **10%**
引きとさせていただきますので、ご気軽に
ご来店下さいませ。お待ちしております。

平成29年行事予定(1月～8月)

◎1月22日(第4日曜)
午前10時より

・婦人会主催寒修行

◎2月5日(第1日曜)
午前10時より

・月祈禱祭、節分追儺会

◎2月26日(第4日曜)
午後1時より

・月施餓鬼供養会

◎3月5日(第1日曜)
午前10時より

・月祈禱祭

◎3月17日(金)～23日(木)
早朝より

・春季彼岸棚経廻り

◎3月26日(第4日曜)
午後1時より

・春季彼岸施餓鬼供養会

◎4月2日(第1日曜)
午前10時より

・月祈禱祭

◎4月9日(第2日曜)
午後1時より

・花まつり 釈尊降誕会

・月施餓鬼供養会

◎5月7日(第1月曜)
午前10時より

・月祈禱祭

◎5月28日(第4日曜)
午後1時より

・月施餓鬼供養会

・各家勧請守護神祭

・平成29年檀信徒総会

◎6月4日(第1日曜)
午前10時より

・月祈禱祭

◎6月25日(第4日曜)
午後1時より

・月施餓鬼供養会

◎7月2日(第1日曜)
午前10時より

・月祈禱祭

◎7月23日(第4日曜)
午後1時より

・土用丑秘法ほうろく灸
祈禱会

・月施餓鬼供養会

◎7月30日(第5日曜)
午前9時より

・盆前大掃除

◎8月6日(第1日曜)
午前10時より

・月祈禱祭

午後12時より

・三沢清正公堂大掃除

◎8月7日(月)～15日(火)
早朝より

・盂蘭盆棚経廻り

◎8月20日(第3日曜)
午後1時より

・盂蘭盆施餓鬼供養会

※行事予定日・時間は、変更させて頂くことがありますので、事前に発送します案内でご確認下さい。

◎毎月第1日曜日は

・信行会 (12時より)

(1月・8月は

諸行事の為休みます)

・12月の信行会は特別講演となります

・三沢清正公堂お参り
(午後より)

《御霊屋・納骨堂 加入者募集》

○近代的格調高い

○耐久性にすぐれる

○御先祖様をおまつりするのに
相応しい荘厳な佇まい

※一時払い不可能な方は、分割払い制度をご利用下さい。
※詳しくは、お寺又は護持会事務局までお問い合わせ下さい。

春日山 妙教寺 092-581-1266

発行所 非売品

大野城市錦町二丁目二番一七号

春日山 妙教寺

〇九二(五八二)一二六六